2026 年度　11 月第 5 回定例理事会議事録

日時：11 月 17 日（火）16 時より

会場：日本人会事務局＆オンラインでのハイブリッド開催

出席者（敬称略）：小和野、佐藤、宮森、小林、松浦、手塚、関根、蔭山、前田、市川、野口、山内、芳賀、小林（芳子）

定例理事会の開始と会長挨拶

小和野会長は、野口さん・佐藤さんを中心に祭り実行委員会立ち上げの準備を進めてきたことに謝意を示し、来年 4 月の春祭りに向けて正式に実行委員会を立ち上げる時期になったと説明した。理事にも準備への協力を求めた。また、松浦さんが進める新年祝賀会について、会員への参加呼びかけを協力して行うよう依頼した。

会計部報告

関根さんは 2026 年 10 月の収入$9,874.40、支出$12,189.38、単月純損失$2,307.80、7 月からの累計損失$35,090.70 を報告した。累計赤字には 9 月の日本人学校向け寄付 $47,500 が影響している。春祭りスポンサー未収金$20,000 のうち$18,000 が入金し、$2,000 が残る。アート・アンド・クラフトフェア売上の 5%分は入金済み、個人保険料は回収中で、熊本地震義援金の処理は完了した。10 月末現金残高は$300,861.79 で、前月比約$14,000 増加した。

資金残高に関する質疑では、Bank of Guam の貯蓄口座に約$253,000 あると確認された。金利のよりよい商品への切り替え、別銀行への分散が提案された一方、口座数が増えることによる管理負担や既存の銀行関係も論点となった。具体的な移動先・金額・実施時期は決定されず、銀行に相談することになった。

総務部報告

＊日本人会法人会員・未回答の法人へのフォローアップについて

総務部松浦さんは、継続・退会の意思が未回答の法人を理事で分担し、個別に連絡する方針を示した。継続の場合は会員数を確認し、事務局所定の形式で連絡して請求書発行につなげる。芳賀さんの休暇中は天畠さんが対応できる旨も確認された。

＊新年祝賀会について

新年祝賀会は 1 月 6 日午後 6 時にホテル・ニッコー・グアムで開催する。昨年の参加者は 109 名で、会員無料、会員家族$20、非会員$40 の料金を据え置く方針となった。領事館は昨年並みの支援が可能との見通しを示したが、金額と確定時期は未定。総予算案は領事館支援込みで$8,000。餅つきは$200 で会場側の了承を得ており、実施に向けて進める。和太鼓は短時間の演奏案が出たが、出演・運搬費と時間の確認が残る。日本人会活動紹介は、写真を集めて簡易なスライドショーにする方向で、写真選定と取りまとめは渉外広報部が担うことになった。子ども料金の適用年齢は未確認のままである。

渉外広報部報告

Meta の統計にアクセスできなかったため、ウェブサイト等の報告は限定的になると説明した。新年祝賀会の告知は 12 月 1 日ごろに合わせ、ニュースレターは時東さんと調整する。日本人会活動スライドは、前年のように動画を制作するのではなく、イベント写真を選んだ簡易なスライドショーとする案で進める。

休眠中の生活情報ページには、必要な情報を掲載する形で「台風時の対応」を掲載する。過去にクローズした経緯を踏まえ、広範な定期更新ではなく、台風など生活上必要な情報を扱うという位置づけが確認され、第 1 弾を 11 月中に掲載することになった。事務所レイアウト変更は、プリンター交換後に配置を整え、撮影した写真を使って告知し、1 月 6 日の祝賀会で発表する案となった。

文化・商工部報告

＊ハロウィンパーティーの実績と改善点

佐藤さんは、10 月 25 日に Village of Donki で開催したパーティーに 85 名が参加したと報告した。昨年と同程度の人数で、来賓挨拶、チーム対抗ゲーム、ハロウィンパレード、ラッフル等を実施。25 社から支援を受け、会長署名入りの感謝状を用意した。収入は参加費と寄付を合わせて$900、支出は$3,116.85 で、差引$2,216.85 の赤字となったが、当初の赤字予算$3,000 以内だった。

ドンキの弁当は着席したまま食べられ、持ち帰りも可能な点が好評だった。会場が広く、子どもが動き回っても他の利用者への影響が少なかった点も評価された。ノーショーへの対応と、会場案内サインがなく参加者が場所を探した点が次回の改善事項として挙がった。

＊友達 RUN 協賛についての審議

小和野会長より、グアム国際日本人学校主催の友達 RUN への$1,000 寄付が審議され、理事により承認された。開催日は 1 月 10 日、会場は UOG の予定。寄付金（小切手）手交時期は 12 月次の学校理事会ごろを目安とする。

＊春祭り実行委員会の準備

実行委員長・野口さんは、10 月 29 日の執行部会でイベントコーディネーター候補として小川さん（Guam TV）、今津さん（Leap Corporation）、山口さんの 3 名に依頼する方針が決まり、見積もりを依頼中と報告した。昨年の設営費は$70,000 強で、今回は$70,000～$75,000 を目標とする。コーディネーターに一部業務を依頼しつつ、理事も進捗管理や当日運営を担当する。理事会は実行委員会の立ち上げを確認し、組織図案を作成して役割を決める方針となった。初回実行委員会は 11 月 24 日午後 4 時日本人会事務局にて開催を予定された。

飲料ブースについては、ボランティア不足とアルコール提供のライセンスが課題で、ディストリビューター等への依頼を検討する。コーディネート費を補う公式グッズ販売も提案されたが、他団体の T シャツ販売との調整、在庫リスク、商品選定が未解決である。ホテル等の食品出店者への来年の参加確認を進める。新知事への早期訪問の提案があったことが共有され、野口さんは確

認すると応じた。総領事館からは春祭りの日程が 4 月 10 日であることを確認し、文化事業への参加を検討するとの発言があった。

教育部報告

蔭山さんは学校の収支見込みが計画を上回っていると説明した。全日制の退学者 1 名による減収がある一方、海軍基地内サテライト校の受注で約$4,500 の増収を反映している。学校名変更時に判明した 2023 年分 W-2 発行遅延のペナルティ約$1,800 も計上された。学校理事会は 2027 年度予算審議に向け 12 月から毎月開催し、2 月の予算承認を目指す。幼稚部で特別な配慮を要する園児に対応する教員追加配置の予算$2,700、時任プレジデントの寄付による教員 2 名への研修助成が承認された。

教育改革では、授業の 50%を英語で実施する構想が話し合われ、教員確保が最大の課題とされた。採用が難しい場合の代替策も準備しているとの説明があり、保護者への説明を継続する。時任プレジデントによる外部校との教員交流は、理事会の事前承認なく行われていたため、雇用契約第 6 条に照らした手続上の問題が議論された。具体的な対応と再発防止策は引き続き協議する。2027 年 12 月予定の日本語能力試験については、日本人会教育部長等を協力委員会の構成員として記載する依頼があったが、領事館との調整を含め保留となった。

領事館連絡、送別会、プレスリリース等

領事館小林さんは新年祝賀会への領事館支援額について、昨年並みの見込みだが確定時期を確認して連絡すると述べた。2 月の天皇誕生日祝賀レセプションは日程調整中で、決まり次第、理事・幹事に案内する。会長は、今月帰国する GVP のマイテレスさんの送別会を開催する意向を示し、日程を後日調整するとした。

春祭り開催日のプレスリリースは、11 月 24 日の実行委員会で内容を確認し、その日または翌日に発表する方向となった。新知事就任後は関係部署や申請手続の体制が変わり、申請遅延が起きる可能性があるとの情報も共有された。新知事への訪問を含め、具体的な対応は今後確認する。

行動項目

理事各担当者：会費継続の意思が未回答の法人へ個別に連絡し、継続・退会の意思を確認する。継続の場合は会員数を確認して事務局へ連絡する。

事務局（天畠さん）：芳賀さんの休暇中、継続意思のある法人について会員数を確認し、所定のフォーマットで事務局宛に送るよう案内する。

松浦さん：新年祝賀会の案内を 12 月 1 日ごろ配信し、申込締切を 12 月 17 日ごろに設定する。

松浦さん：ホテル・ニッコー・グアムと餅つきの実施について調整を進める。費用は$200。

小和野会長：和太鼓の短時間演奏について、出演料・運搬費の有無を交渉・確認する。

宮森さん：各イベントの写真を集めて選定し、新年祝賀会で流す簡易スライドショーにまとめる。

宮森さん：生活情報ページの第 1 弾を 11 月中にウェブサイトへ掲載する。

佐藤さん：プリンター交換後に事務所レイアウトを整え、12 月ごろに撮影して、1 月 6 日の新年祝賀会でレイアウト変更を告知する準備をする。

文化部担当者：ハロウィンパーティー支援企業 25 社へ、会長署名入りの感謝メールを数日内に送る。

野口さん：コーディネーター候補の小川さん、今津さん、山口綾香さんから、業務範囲を明確にした見積もりを次回実行委員会までに受け取る。

野口さん・佐藤さん：春祭り実行委員会の組織図案を作成する。

野口さん：11 月 24 日午後 4 時の実行委員会について、出席者へメールで案内する。

野口さん：新知事への訪問について確認する。

蔭山さん：新年祝賀会での日本人学校活動報告について、学校側に実施可否を確認する。

小林さん（領事館）：新年祝賀会への支援額がいつ頃確定するかを確認し、連絡する。

佐藤さん：マイペレスさんの送別会の日程を調整する。

宮森さん：春祭り開催日のプレスリリース案を作成し、11 月 24 日の実行委員会で内容確認を受けられるよう野口さんに提出。

以上。